

平成29年度PTA指導者研修会 参加者アンケート集計結果及び反省

【PTA指導者支援事業（中部会場）】

【研修会内容】

- ・第1分科会 「PTAを円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について」
- ・第2分科会 「ふつうさあ・・・」人権教育プログラムより 多様性・居場所づくり
- ・第3分科会 「ピンチはチャンス！」（新人会長さん向け）

【指導者研修会参加者（学校区分）】 87人

【参加者アンケート回収状況（学校区分）】 85.1%

（小学校58人、中学校28人、その他1人）

（第1分科会78.1%、第2分科会89.7%、第3分科会88.5%）

	小学校	中学校	その他	参加者数	参加率%
第1分科会	21	10	1	32	36.8%
第2分科会	17	12	0	29	33.3%
第3分科会	20	6	0	26	29.9%
合計（人）	58	28	1	87	100%
率（%）	66.7%	32.2%	1.1%	100%	

	参加者	回収数	率（%）
第1分科会	32	25	78.1%
第2分科会	29	26	89.7%
第3分科会	26	23	88.5%
合計（人数）	87	74	85.1%

【研修会参加者アンケート集計結果】

1、学校区分 アンケート回収数74人（①小学校51人、中学校23人）

2、参加分科会 ①第1分科会 25人 ②第2分科会 26人 ③第3分科会 23人

	小学校	中学校	回収数
第1分科会	18	7	25
第2分科会	16	10	26
第3分科会	17	6	23
合計（人）	51	23	74

3、分科会について

(1) 分科会のテーマについて

	良い	おおむね良い	あまり良くない	良くない
第1分科会	20	5	0	0
第2分科会	24	2	0	0
第3分科会	18	5	0	0
合計（人）	62	12	0	0
率（%）	83.8%	16.2%	0	0

(理由等)

【第1分科会】

- ・会議の進め方について充実させる手順、段取り、技術をたくさん教えていただき良かった。
- ・PTAだけでなく、職場でも必要なことであり大変参考になった。
- ・今後のPTAの会合や会議に役立てたい。
- ・難しい内容だったけど、納得できる部分も多くあった。
- ・分かりやすく今後のためになった。今後に活かそうです。
- ・PTAの活動だけでなく、人と人とのつながりに（見てしっかり聞く、共感する）必要な内容だった。
- ・よく進行役に充てられる事があり、スキルアップしたいと思っていたので良かった。
- ・会議の進め方にいつも不安があった。会議を円滑に進める勉強になった。
- ・会議をスムーズに進めるために、出席者の不満や不安なく進める方法について学ぶことができとても良かった。
- ・もう少し時間が・・・と思いました。

・部長にとって会議をすることが多く、意見が出なくて困ることがあり、今日のテーマを選びました。とても参考になりました。

【第2分科会】

- ・「ふつう」について考えさせられた。他の親にも受けてみてほしいと感じた。
- ・グループごとに様々な意見を聞くよい機会となった。
- ・グループとして考えやすく、とても分かりやすく、身近に使う言葉だったので、話し合いも進めやすく、意見もやすい内容だった。
- ・身近で起こりうる事だったので理解しやすかった。新たな気づきになった。
- ・自分の事に置き換えて考えられた。
- ・価値観や他の保護者の考えが出やすく話しやすい内容で良かったと思います。
- ・普段使ってしまう言葉なので、あまりピンとこないですが今日あらためて意識しようと思いました。
- ・身近な言葉、事例を通してグループで考えることができた。自分の行動も振り返る事ができた。
- ・いろいろな価値観や意見があることが再認識できた。
- ・何気なく使っている言葉の意味を考える良い機会となりました。
- ・自分が普段使っている言葉がいろんな意見にとられることが分かった。
- ・普段何気なく使っている言葉をこんなに考えることがなかったのでもいい経験になった。

【第3分科会】

- ・小グループに分かれてのグループ討議がよかった。PTAのあり方について考えることができた。
- ・会長職に不安が大きいと、同じ立場の人達の意見が聞けて、少し不安が解消した。
- ・講師さんの経験談と具体的な会の進め方などが参考になった。
- ・人と人をつなぐ立場だということを大切にしたい。
- ・具体的な行事の必要性をディスカッションできて、より具体的に考えることができた。
- ・楽しく話し合うことができ、PTA活動のヒントをいただきました。実行に移したいです。
- ・今後のPTAで役に立つ内容でした。
- ・同じような立場の人から刺激を受けることができました。
- ・とても分かりやすく、参考になる内容だった。
- ・勉強になり視野がひろがり、ヒントや新しい発見がありました。
- ・自分には必要ないテーマだと思っていたが、色々と参考になった。

(2) 本日の研修内容を各学校(単位PTA)で活用したいと思いませんか。

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない
第1分科会	20	4	1	0
第2分科会	17	8	1	0
第3分科会	16	7	0	0
合計(人)	53	19	2	0
率(%)	71.6%	25.7%	2.7%	0

※あまり思わない：いずれも中学校保護者が解答

(理由等)

【第1分科会】

- ・役員選出や会議で活用したいと思う。
- ・不安な人もいると思うので、リーダーは否定することなく進めたいです。
- ・ファシリテーションについてもっと学び活かしていきたい。
- ・楽しく役員会をしたいと思った。
- ・スムーズで活潑なPTA活動ができるように活用したいです。

- ・会の進め方が分かったので実践出来たらと思います。
- ・参加者に不満の残らない会議にしたいと思います。
- ・意見が出ない、同じ人だけしゃべる状態があるので、アイスブレイクはぜひ使ってみたい。
- ・アイスブレイク、感謝、ゴールイメージ等、参考になるキーワードがたくさんあり早速役立てられるよう頑張ってみます。楽しい分科会でした。
- ・ファシリテーション役は重要だが、難しいとも思える。

【第2分科会】

- ・ふつうって何だろう？とは確かに普段でも思うことなので。
- ・身近で起こる事に置き換えれば理解しやすい。
- ・グループだとコミュニケーションも図れる。
- ・時間づくり、時間設定が今の学校行事の中でとれれば良いと思っている。
- ・考えの違いを個性であると受け止める子どもになってほしいと思うので。
- ・人権保護者研修会や高校の人権でできるとよいと思いました。
- ・資料を読んで使っていきたいと思う。
- ・研修資料は、人権部長さんにも渡して参考にさせていただきたいと思います。
- ・テーマが違って、方法は取り入れたい。保護者同士の顔も分かり名前も知れてよい。
- ・誰でも使う言葉から考えが深まると思うから。

【第3分科会】

- ・行事の見直しの参考になり、勉強になった。部会で役立てたい。
- ・前年度県の「子育て親育ちファシリテーター」を活用しとてもよかったので、また活用させていただきたいと思っている。参加型で楽しいPTAにしたい。
- ・丁度、部の再編を検討しており、今回行った行事の必要性の議論をできたらと思います。
- ・先生、会長が話しっぱなしの会が多いので、グループで話し合える運営委員会を開いてもいいのではと思えた。
- ・よい流れをつくりたい。
- ・会議を盛り上げる。活動を盛り上げる手段となるヒントを得た。
- ・周囲の様子を見ながら活用したい。
- ・会員に発言してもらおう機会を増やしたいと思う。
- ・プールのことは改めて考えさせられました。
- ・任意加入の情報、対応の仕方が聞けた。

4、今後、研修を受けたい内容などがあれば記入してください。

- ・子どもの反抗期
- ・ファシリテーター
- ・アサーションについて学びたいです。(自分の意見も主張しつつ相手も尊重する技術)
- ・今思春期の子どもがいるので、親業について
- ・グループ討議
- ・スマホの使用方法
- ・子どもたちの安心・安全に関わることについてのお話
- ・人間関係について
- ・他の分科会でされていた内容も受けてみたかったです。

5、本日の研修会全体をとおしてお気づきの点があればご記入ください。

【第1分科会】

- ・とても楽しく学びました。
- ・事務局様、企画、運営お疲れさまでした。

- ・大変勉強になりました。PTA活動に活かしていきたいと思います。
- ・最初と最後では気持ちが違い、また参加したいという気持ちになりました。
- ・アイスブレイクをするだけで、ずいぶん場が和むものだと驚いた。
- ・のどが渇きました。お茶の提供があると良かったです。

【第2分科会】

- ・初めて参加しとても勉強になりました。
- ・単Pでの研修充実のために、講師派遣をお願いしたい。
- ・他の学校のPTAの方と話ができてよかったと思います。意見を聞くことは大事だと思いました。
- ・研修会の講師、司会者の派遣案内があり良かったです。
- ・話し合いとなると緊張するがテーマが定まっていると話やすいのでよかった。
- ・大人も子どもも変わらないと思いました。
- ・役員だけでなく、一般の方（役員でない方）も参加できるとよいと思った。
- ・時間も丁度良く、充実した研修になった。
- ・席（グループ）をもう少し離してほしい。隣のグループの音が聞こえてしまし自分のグループの音が聞こえなくなります。
- ・スタッフの方には、朝早くからお世話になりありがとうございました。
- ・多くの準備がされていて、係りの方々には頭が下がります。

【第3分科会】

- ・よい研修でしたありがとうございました。
- ・主体性をもって活動したいと思います。
- ・ファシリテーション技術で進行も良く内容がよく理解できた。持ち帰って活用したい内容もあった。PTA会長に限定せず役員となる方に参加してもらいたい内容でした。
- ・話す時間がもっとあってもよい。
- ・時間をもう少し長くしても良かった。

【まとめ】感想、今後の検討と方針など

- ① 全体的に参加された方から高い評価をいただき、満足度も高く、今回の研修を前向きに今後活用し実践していきたいという意見も多く聞かれた点では、今後に期待ができるように感じた。
- ② ワークショップ形式を取り入れた分科会は苦手な方もいるが、同じ立場で悩みも共有でき、仲間をつくることのできるの、研修の効果は大きいと言える。この手法で来年度も継続の方向で考え保護者のニーズの高いテーマで行っていきたい。
- ③ この指導者研修会で学んだことを単位PTAで広げ、またこの会の趣旨や分科会の意義を次年度の役員の方にしっかりと引き継ぎ、つなげていく努力を参加者と運営側で行う必要性を感じた。

（運営について今後の検討事項）

- ① 受付の名札は必要で継続する。
- ② 名前を書くペンが細めの名前ペンを準備した方が書きやすかった。
- ③ 接待は、買い出しなどの準備を含めてサポートが必要である。（2名以上）
- ④ グループワークでは、テーブルの配置を考慮し、できるだけ隣のグループの音が気にならないようにテーブルの設定を考えていく必要がある。
- ⑤ 全体の準備を考えると午後開催の方が、スムーズな進行ができる。講師さんとの調整により開催時間を来年度は再検討していく。

成 29 年度 P T A 指導者研修会報告【中部会場】平成 29 年 6/18（日）伯耆しあわせの郷

第 1 分科会 【目的】P T A 活動を円滑に進めるために必要な会議のファシリテーション技術を身につける。

【目標】・ 会議の基本構造と共有の大切さを理解する。

・ 立場のちがう人たちから意見を引き出す技術について理解を深める。

○ファシリテーションとは : 組織、団体、企業など人が複数集まっている集団の成果を最大化するためにプロセスに働きかけることで、ファシリテーターの役割が大きい。

○ファシリテーターとその役割

・ ファシリテーターは中立的な立場でチームのプロセスを管理し、チームの成果が最大になるように支援する人。今はファシリテーター型リーダーの時代と言われる。

・ P T A など自発的に集まっている集団こそ、ファシリテーターの存在が大きい。

・ ファシリテーターは「積極的傾聴」を身につける。

相づち、復唱、要約して確認、沈黙に耐える。(最低 10 秒) 評価・評論、説教、助言は絶対にしない。

〈ファシリテーターが特に注意する点〉

・ 集まった人の思いやエネルギーを大切に。(ネガティブな思いも大切に)

・ 自分が正しいという前提を少し脇に置く。(会議を強引に展開すると参加者に納得感がなくなる。)

・ 出席者の置かれている状況を理解しようとする。

・ 忙しいのに出席してくれてありがとうという感謝の念を持つ。 ⇒感情を受け取って、受け入れる。

○会議のファシリテーション

① 場をデザインする (共有) →会議は準備で 7 割が決まってしまうので段取りが大事。

意見が出やすい雰囲気を作る。

② 意見を発散させる →十分発散させないと、議論がぶり返す。

③ 意見を収束させる →発散と収束のタイミングを見極めることが大切。

④ 合意形成、決定

※今回の研修では①②を学習

① 場をデザインする

・ 会議は段取りが一番であり、意見の出やすい雰囲気を作ることが大切である。

・ 相互理解を通して信頼感を醸成し、会議を安心・安全な場にすることが大切。そのためにも、どんな参加者がいるか共有し、会議の目的と目標、スケジュール、参加者の役割、ルール等を確認、共有する。

・ まずはゴールイメージを決めて共有する。(ゴールイメージがバラバラだとまとまらない。)

・ 会議が収束しない理由として、キーワードの定義が違うことが多いので、事前にキーワードの定義を決定、共有する。

・ 議事録を残し、必ずみんなで確認する。

・ 安心、安全の場づくりのため意見の出やすい雰囲気をつくる。(アイスブレイク)

※アイスブレイク=人と人のわだかまりを解いたり、話し合うきっかけをつくるためのちょっとしたゲームやクイズ、運動など。場の緊張をとり、話しやすくする。

② 意見を発散させる

・ 「意見の量が、結果の質を担保する」が原則であり、傾聴と質問で意見を引き出すことが重要。

・ 意見を発散させる場において、否定・批判(ダメ出し)や責任追及(言い出しっぺがやれ!)は絶対にしない。

・ 傾聴以外で意見を引き出すには、以下の方法もある。

シンキングタイム (一人で考える)

→メモ(付箋)に書きだし

→バズ(2、3人の小グループでの短い話し合い)

→ストラクチャードラウンド（発言時間を決め、一人ずつ順番に意見を言う）

- ・ホワイトボードの活用（発言のプロセスやポイントの共有、発言が取り上げられたことの確認、発言者と意見の内容の切り離し等の効果）⇒みんなに「見える化」
- ・意見の発散が中途半端だと会議が進まないの、とにかくいろんな意見を出し切ることが大切。

【第一分科会 資料説明】

① P1 会議が変われば活動が楽しくなる

- ・いろいろな人が集まるPTAの運営や会議は企業よりも難しい。
- ・会議の前に結論をイメージする。 例：今年はスポーツ大会を開きたい。
 - 1) 最初にゴールイメージを作る
 - 2) どういうスポーツにするか決める（ここが先だと、スポーツの選択肢が多くなり、会議が進まなくなる）

② P5 ファシリテーションとは

- ・意思の決定の質や内容より、メンバーの納得度やプロセスが大事。

③ P8 会議の不満！！

- ・意見を言わないので進まない。何も意見が出ない。・他人事のような参加者がいる。・発言しても流されてしまう。・主題からはずれた内容になってしまう。・終わった議題を蒸し返す。・黙っていて目が怖い。発言しても流されてしまう。・決まった人しか発言しない。・自分の意見を押し通す人がいる。発言力のある人の意見が通ってしまう。

④ P12 場をデザインする5つの要素を確認する。

- ・やり方とスケジュール：議題は疑問形に。 ㊦ 最高のスポーツ大会にするにはどうすればいいか？
- ・タイムキーパーを作る。（口うるさい人にやってもらうとベスト）

⑤ P14 ㊦ 会議が終わったとき、どうなっていればいいのか、ここをきちんと決めておくことが大事。

⑥ P15 ホワイトボードの使い方 ㊦ ・関係ない意見が出たらパーキングロットに書いておく ・目標に向かって話をする。

⑦ P18 会議の進め方 ・どういう場でどんな参加者がいるかを共有する。

⑧ P19 ファシリテーターの存在は大きい！ ・参加者それぞれの居場所を作る。

⑨ P23 意見の出やすい雰囲気を作る（アイスブレイク）ハードルを上げすぎず、言いやすい自己紹介など ㊦ 24時間でもよかったこと。新しく発見したこと

⑩ P25 ①各テーブルで自己紹介をします。 ②2分で言いたいことを作る。③次の人がタイムキーパーになる。

④場の緊張を取る。⑤終わってから10分前のテーブルの雰囲気を考える。隣の人と意見を交わす。

⑪ P28 会議のファシリテーション

- ・意見を発散させる。十分発散させ、混沌を恐れない事。一度意見を出し尽くし、トイレなどの休憩を取り、もう一度意見を発散させる。

⑫ P33 傾聴以外で意見が出やすくなる工夫

- ・一人で考えたりメモを取ったりする時間を30秒ほど設ける。
- ・バス→話慣れていない人のシュミレーションにもなる。

⑬ P40 模擬会議 自信のなかった全保護者の会話が増える。

⑭ P41 ファシリテーターの役割 書いてある事、全部要チェックです。

⑮ P39 チェックシート パーキングロットを作っておく。

⑯ まとめ ・会議に参加していただいたことに感謝の念をもって。

- ・PTAの会議は難しいという事を念頭におく。もしくは、会議が煮詰まったときに、一言いう。「難しいけれど、頑張ろう」的に。

第2分科会

テーマ：「ふつうさぁ・・・」人権教育プログラムより ～多様性・居場所づくり～

ファシリテーター： 青戸智子さん 伯耆町教育委員会事務局人権教育推進委員

1、自己紹介

最近の気になるニュース・子どものこと

2、アイスブレイク

「宇宙人（人間を知らない人）に人間を説明すると？」

講師より：いろいろな事項、すべての人に当てはまることはない

言葉を発せられない人もいる。服を着ない人種もある。

3、展開

「ふつうさぁ・・・」 模造紙に5項目の事例をグループごとに「ざっくばらんトーク」

4、回覧

各グループのまとめた表を全員で回覧 気づくことをシールに貼る。

5、まとめ

でた意見や感想を全体を見てまとめる。

6、講師からのまとめ

保護者の価値観の多様性・・・子どもへの教育

保護者同士の意思疎通・気づき・・・子どもへの安心安全



居場所づくりにつながる

第3分科会

「ピンチはチャンス！」（新人会長さん向け）

【説明】会長の役割とは

学校と家庭のパイプ役

親同士の協力、繋がりをつくる。

子どもたちの実態を知り、どうしたら頑張れるのか考える。

【アイスブレイク】

①講師対参加者のじゃんけん→固くなった気持ちを和らげる。

②自由に動いて、参加者同士で5回負けるまでいろんな人とじゃんけん
→負けた人から並び、グループを分ける。

【グループワーク】PTA行事の見直し

現在自分の学校で行われている行事を書き出し、必要度を5段階で考える。

自分が評価した必要度の理由を書き出す。

グループの中で、いくつかの行事（どこでもやっついそうなものを選んだ）について意見交換し、それぞれの学校での取り組みや参加者の考えを発表しあう。

- なののためにしている行事なのか（目的）→課題、改善点を考える。
- 対象者はだれなのか
- 自分の学校の実態にあわせて見直す or どう考えても不要な場合は廃止する。

【その他】

会議にひつようなもの

→参加（とにかく参加してみる）・尊重（そうなんだー）・守秘（必要な時は、口外しないという約束）

PTA（ボランティア）原則→出来る時に、出来る人が、出来ることをする。

きずなが固すぎる団体には加入しにくい→きずなはゆるーく。

日頃から、参加して下さった方への感謝を口に出す。

楽しんでもらえるように、大事にする。

サポートをしっかりと、次を育てる。

ひとりでやらなくてもいい。

みんなに助けってもらって活動するという意識。